先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社

第91期中間報告書

2010年4月1日～2010年9月30日

証券コード 4514

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申しあげます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに第91期の前半（2010年4月1日から2010年9月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

国内医薬品市場は、医療費抑制策の影響が大きく、引き続き厳しい状況で推移しています。当社はこのような情勢に対処するため、3領域（内科、産婦人科、泌尿器科）に絞った新製品開発に経営資源を集中し、強い競争力のある新薬開発型製薬企業を目指しております。

また、本年度より2012年度にわたる3年間の中期経営計画「ASKA PLAN 2012」を策定いたしました。「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」ことを経営理念とし、法令遵守、倫理的な経営のもと、「社会に貢献し信頼される会社」として発展していきたいと考えております。

当社は、本年創立90周年を迎えることができました。これも、ひとえに、株主の皆様の日ごろのご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2010年11月



代表取締役社長

山口　隆

目　次

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
営業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
財務ハイライト（連結）・・・・・・・・・・・・・ 3
中間連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
主要製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
株式の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
株主メモ

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の増加を背景に景気は緩やかな回復基調にあり、企業収益の改善により設備投資にも持ち直しが見られたものの、雇用・所得環境は引き続き厳しい状況で推移し、為替円高の影響などにより先行き不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、本年4月に長期収載医薬品の特例引き下げを含む薬価改定が実施され、後発品の使用促進など医療費抑制の基調は変わらず、市場環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループは、当期を初年度とする新中期経営計画「ASKA PLAN 2012」の方針に基づき、医薬品事業を中心に売上の確保に努めました結果、売上高は218億2千6百万円（前年同期比45.7%増）となりました。

医療用医薬品分野では、薬価改定や主力製品の競争激化の影響はありましたが、後発医療用医薬品（3品目）の上市、後発医療用医薬品および販売権を取得した商品等の販売増により、売上高は200億1千3百万円となりました。

動物用医薬品分野では、本年4月に畜水産領域およびコンパニオンアニマル領域に係る国内販売事業を承継したことにより、売上高は16億3千9百万円となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の売上高は1億7千3百万円となりました。

利益面では、売上構成の変化による売上原価率の増加等の影響はありましたが、売上高の増加に加え、研究開発費および販売費等の削減の結果、営業利益6億円（前年同期は3億5千9百万円の営業損失）、経常利益6億8千万円（前年同期は2億3千5百万円の経常損失）とそれぞれ増益となりました。一方、特別損失として、希望退職者募集に伴い発生した退職加算金等の費用11億1千3百万円ならびに投資有価証券評価損8億4千2百万円（前年同期は5千6百万円）計上したことにより、中間純損失9億4千4百万円（前年同期は2億8千7百万円の中間純損失）となりました。

生産面におきましては、生産拠点の統合による新体制のもと、一層の生産の効率化に取り組み、安定供給、高品質の確保に努め、計画に則した生産を順調に達成することができました。また、本年4月より本稼動を開始したいわき工場新製剤棟では、カプセル剤を生産中であり、現在は錠剤の製造に向け準備を進めております。

研究開発面におきましては、本年4月にアルファ・ワッサーマン社（本社：イタリア）と非吸収性抗生物質「リファキシミン」の日本における開発権および販売権に関する契約を締結いたしました。また、本年5月には後発医療用医薬品である「アムロジピンゼリー」、「ラタノプロスト点眼液」および「ワークミンカプセル3.0」を上市いたしました。AKP-501（遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン）は、フェーズⅠ試験を開始いたしました。

当中間連結会計期間における設備投資額は4億7千1百万円で、その主なものは、生産設備および研究設備などであり、全額自己資金で賄っております。

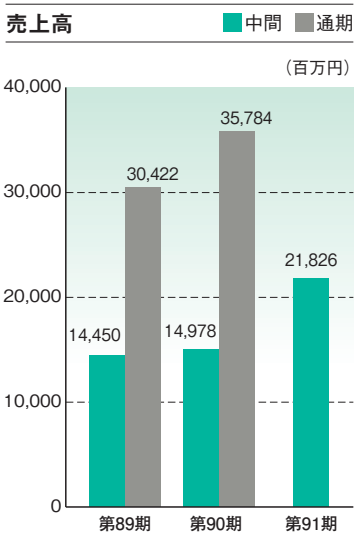
今後の医薬品業界は、引き続き厳しい経営環境が予測されます。

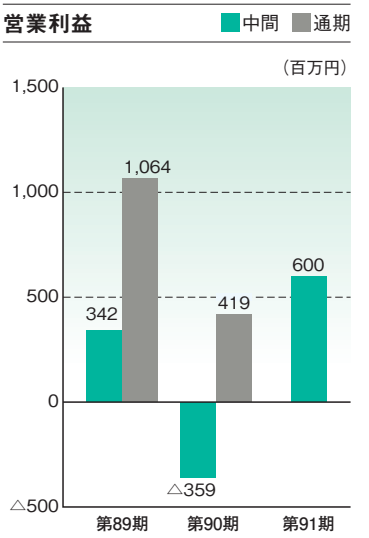
当社は企業価値の最大化を図るため、今後も改革を緩めず効率的経営に努めてまいります。

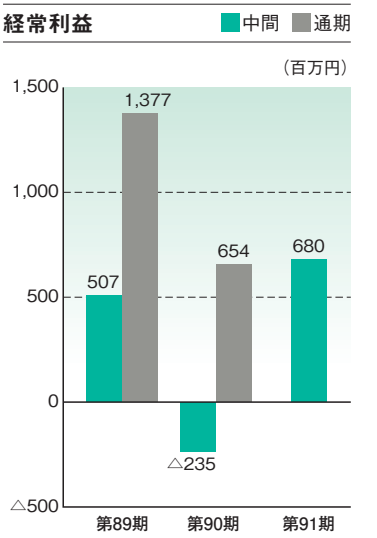
また、株主の皆様はもとより、広くステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するようIR活動を推進してまいる所存であります。

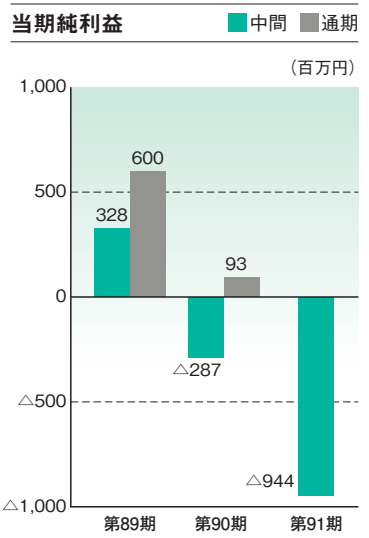
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

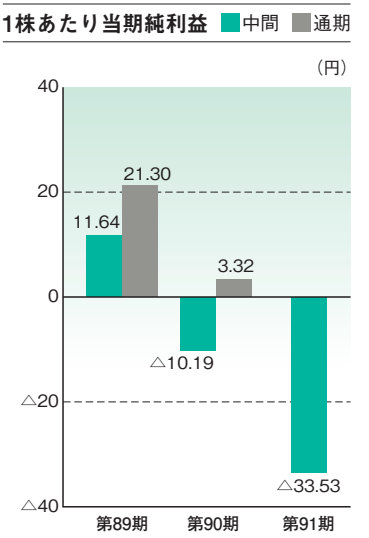
財務ハイライト（連結）

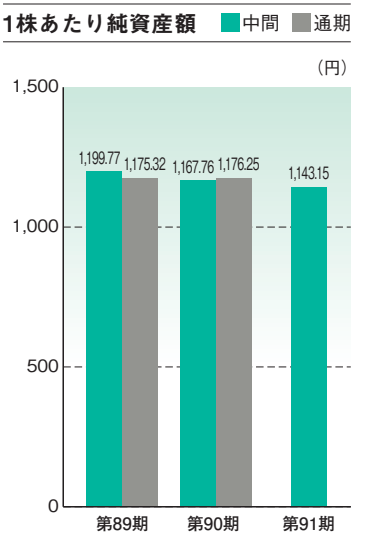












（注）当中間期末の自己資本比率は60.1％です。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前年度末 2010年3月31日現在	当中間期末 2010年9月30日現在
資産の部		
流動資産	**25,398**	**26,770**
現金及び預金	4,094	4,299
受取手形及び売掛金	7,733	8,884
有価証券	5,340	4,670
その他	8,230	8,917
固定資産	**27,774**	**26,728**
有形固定資産	**14,367**	**13,882**
無形固定資産	**3,280**	**2,976**
投資その他の資産	**10,127**	**9,869**
投資有価証券	4,752	4,390
その他	5,374	5,478
繰延資産	**66**	**71**
資産合計	**53,239**	**53,570**
負債の部		
流動負債	**9,136**	**12,641**
固定負債	**10,903**	**8,709**
負債合計	**20,040**	**21,350**
純資産の部		
株主資本	**33,581**	**32,438**
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	33,844	32,702
自己株式	△ 2,306	△ 2,306
評価・換算差額等	**△ 448**	**△ 240**
その他有価証券評価差額金	△ 439	△ 229
繰延ヘッジ損益	△ 8	△ 10
少数株主持分	**65**	**21**
純資産合計	**33,198**	**32,219**
負債純資産合計	**53,239**	**53,570**

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで	当中間期 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで
売上高	**14,978**	**21,826**
売上原価	5,843	12,304
売上総利益	**9,135**	**9,521**
返品調整引当金繰入額	△ 1	1
差引売上総利益	**9,136**	**9,519**
販売費及び一般管理費	9,495	8,919
営業利益	**△ 359**	**600**
営業外収益	161	189
営業外費用	37	109
経常利益	**△ 235**	**680**
特別損失	56	1,955
税金等調整前中間純利益	**△ 292**	**△ 1,275**
法人税、住民税及び事業税	—	30
法人税等調整額	—	△ 317
法人税等	53	△ 286
少数株主利益	△ 57	△ 44
中間純利益	**△ 287**	**△ 944**

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで	当中間期 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**△ 186**	**2,070**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 4,356**	**△ 1,398**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**2,050**	**△ 1,138**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**△ 0**	**0**
現金及び現金同等物の増減額	**△ 2,492**	**△ 465**
現金及び現金同等物の期首残高	**9,774**	**9,434**
現金及び現金同等物の中間期末残高	**7,281**	**8,969**

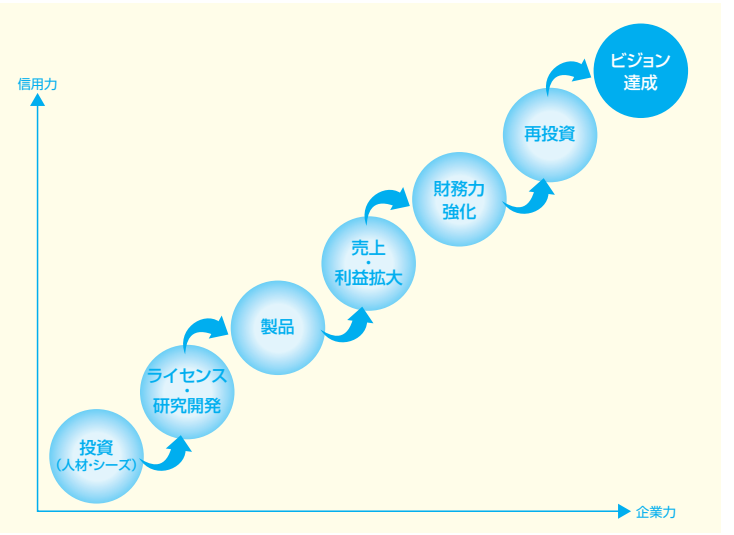
◆ 中期経営計画「ASKA PLAN 2012」

本年度より2012年度にわたる3年間の中期経営計画「ASKA PLAN 2012」を策定いたしました。

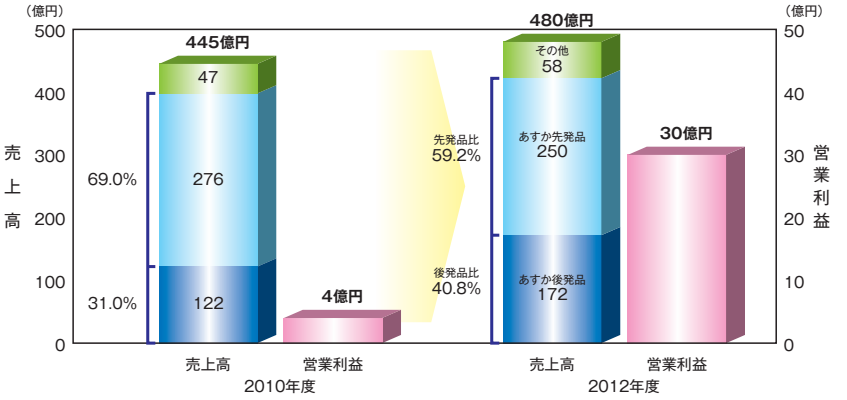
「ASKA PLAN 2012」では、経営ビジョン「強い競争力のある新薬開発型製薬企業をめざす」を実現するため、さまざまな経営施策を推進していきます。

基本方針は以下のとおりです。

・「収益の向上」を図り、環境変化に強い企業体質を構築する
・あすかの独自性を追求し、競争力を強化する



具体的な数値計画は、次のとおりとします。



◆ 合弁会社セオリア ファーマ株式会社設立

当社と千寿製薬株式会社は、合弁会社セオリア ファーマ株式会社（以下「セオリア ファーマ」）を設立し、2010年10月1日より、事業活動を開始いたしました。

セオリア ファーマは、代表取締役社長に金澤 一（当社専務取締役）が就任し、当面は当社の耳鼻咽喉科領域の事業を基盤に、「ベストロン耳鼻科用1%」を主力品として販売を進めます。

セオリア ファーマは、耳鼻咽喉科に特化したスペシャリティ・ファーマを目指しますが、将来は、患者さんのニーズにあった新製品の開発・導入および適応症の追加拡大等を行い、事業効率を高めていく方針です。

◆ アステラス製薬との「AKP-002」に関するライセンス契約締結

10月19日、当社はアステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）と、当社が開発を進めている「AKP-002」について、全世界での開発、製造および販売に関する独占的なライセンス契約を締結しました。

「AKP-002」は、当社が前立腺肥大に伴う排尿障害治療剤として創製し開発している化合物で、現在第Ⅰ相臨床試験の段階にあります。

本契約の締結により、当社は、アステラス製薬に全世界における独占的な開発、製造および販売の権利を許諾しましたが、日本においては、当社がコ・プロモーションを行う権利を留保しています。なお、本契約締結に伴い、アステラス製薬から契約締結時一時金のほか、開発の進捗に応じたマイルストン、本製品販売後の売上高に応じたロイヤリティなどが支払われます。

当社は、泌尿器科領域を重点領域の一つとしており、前立腺肥大症・癌治療剤「プロスタール錠」等の製品を中心に販売活動を行っています。当社は、本契約において将来コ・プロモーションを行う権利を留保しており、泌尿器科領域の更なる販売強化と医療への貢献を図ってまいります。

◆ 創立90周年記念事業



当社は、2010年6月に創立90周年（創立1920年）を迎えました。この節目となる記念の年に、全従業員による社会貢献活動を10月から実施しています。

この記念事業により、社会貢献への姿勢を示すのはもちろんのこと、生命関連企業に身をおく社会的使命とその責任を再認識することで、個人の成長と従業員相互の信頼関係の醸成による一層の社内融和を図ることを目的としています。

各本部あるいは各部に対して、身近に取り組める社会貢献活動を募ったところ、従業員一人ひとりが活動を実感できる取り組みが企画され、実行に移されています。記念すべき90周年を未来への発展のステップと位置づけ、社会への貢献を果たしていきます。

具体的には、地域の環境美化運動・清掃活動、募金活動、事業所見学会等を実施します。

◆ 新製品発売

後発医療用医薬品（3品目）を新発売いたしました。



高血圧症・狭心症治療薬
持続性Ca拮抗薬
アムロジピン内用ゼリー2.5㎎・5㎎「あすか」



プロスタグランジン$F_{2\alpha}$誘導体
緑内障・高眼圧症治療剤
ラタノプロスト点眼液0.005%「AA」



活性型ビタミンD_3製剤
ワークミンカプセル3.0

◆ 2010年度学会共催セミナー

当社は、自社医薬品に関連する各種学会のランチョンセミナーなど、各種セミナーを共催しています。2010年度は、右のとおり実施、予定しています。

内科領域	第53回日本糖尿病学会
	第42回日本動脈硬化学会
	第7回日本消化管学会
	第75回日本循環器学会
産婦人科領域	第62回日本産科婦人科学会
	第11回国際精子学シンポジウム
	第33回日本産婦人科医会性教育指導セミナー
	第13回日本IVF学会
	第25回日本更年期医学会
	第55回日本生殖医学会
泌尿器科領域	第98回日本泌尿器科学会
	第23回日本老年泌尿器科学会

各種医療関係者向けセミナーのパンフレット







◆ 医療関係者向けセミナー支援

当社は、上記の各種学会のランチョンセミナーに共催しております。特に重点3領域の一つであります産科婦人科領域においては、避妊、不妊、周産期、更年期などの産婦人科医療の発展に貢献するため、ランチョンセミナー、スポンサードシンポジウムなどの共催セミナーや展示ブースへの出展など、積極的に取り組んでおります。

これからも引き続き各種学会を支援し、より良い医療を提供していきます。



国際精子学シンポジウムランチョンセミナー

●医療用医薬品

内科（消化器・循環器・内分泌）、産婦人科、泌尿器科に品揃えを展開しています。



消化性潰瘍･胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5・75



高脂血症治療剤
リピディルカプセル67・100



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠25・50・100



更年期障害治療剤
メノエイドコンビパッチ



経口避妊剤
アンジュ21錠・28錠



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール錠25
徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスタールL錠50

●一般用医薬品



解熱鎮痛剤
グレラン・ビット



筋緊張改善剤
ドキシン錠

●健康食品



美容健康食品
植物プラセンタASKA



健康補助食品
グルコサミンASKA

●動物用医薬品および飼料添加物



注射用血清性性腺刺激ホルモン
動物用セロトロピン



犬前立腺肥大症治療剤
ウロエース錠



代謝改善解毒剤
動物用チオラ注射液



飼料添加物
L-バリン・L-アルギニン

会社概要（2010年10月1日 現在）

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社
設立	1929年6月28日 （創立1920年6月16日）
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
事業所	川崎事業所（神奈川県川崎市） 西東京事業所（東京都羽村市）
工場	いわき工場（福島県いわき市）
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、千葉・埼玉支店、横浜支店、北関東支店、甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店
従業員数	887名 （子会社への出向者42名は含めておりません）

子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
	百万円	%	
㈱あすか製薬メディカル	200	100	医薬品原材料等の販売業務 臨床検査業務、 健康食品の販売業務 清掃・警備等の受託業務、 保険代理店
あすかActavis製薬㈱	200	55	医薬品の開発、製造、販売および輸出入

役員

役員	代表取締役社長	山口　隆
	代表取締役専務取締役	山口雅夫
	専務取締役	金澤　一
	常務取締役	大竹　充
	取締役常務執行役員	萬矢裕俊
	取締役常務執行役員	堀内　敏
	取締役常務執行役員	内藤　朗
	取締役	上田栄治
	常勤監査役	辻　憲三
	常勤監査役	鈴木　肇
	監査役	武田裕二
	監査役	増田由明
執行役員	常務執行役員 （特命事項担当）	杉本隆雄
	常務執行役員 （総務部・人事部・広報部担当）	横山義廣
	執行役員 （監査室・信頼性保証本部担当）	才田　修
	執行役員 （アニマルヘルス事業本部長）	應矢誠司
	執行役員 （西東京事業所長兼創薬研究センター長）	青塚知士
	執行役員 （生産本部長）	角張信隆
	執行役員 （特命事項担当）	秋山　明
	執行役員 （経理部・情報システム部担当）	丸尾篤嗣

株式の状況

■発行済株式の総数　30,563,199株

■株　　主　　数　3,952名

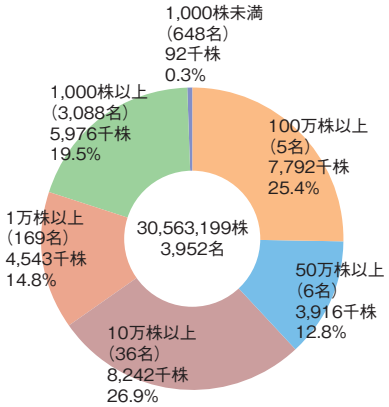
大株主の状況（上位10位）

株主名	所有株数（千株）	持株比率（%）
武田薬品工業株式会社	2,204	7.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,398	4.9
山口　隆	1,060	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,031	3.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	896	3.1
長瀬産業株式会社	850	2.9
あすか製薬従業員持株会	590	2.0
日本生命保険相互会社	579	2.0
トーア再保険株式会社	500	1.7
ビービーエイチ ボストン ハートランド バリュー ファンド インク	500	1.7

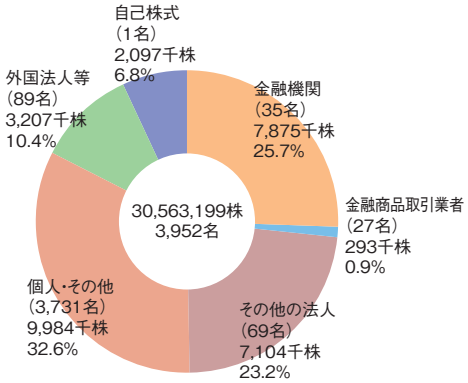
（注）持株比率は、自己株式（2,097,625株）を控除して計算しております。

株式の分布

■所有株数別



■所有者別



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告掲載紙	日本経済新聞

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買取・買増請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120（232）711（通話料無料） http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座*　株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は､本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4514

いいかぶ　検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

※本アンケートは､株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツーメディアについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき､事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL. 03(5777)3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

あすか製薬株式会社

本　社　〒108-8532　東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03（5484）8361㈹　FAX.03（5484）8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC™ C013080
VEGETABLE OIL INK